

創エネ・蓄エネ機器等設置費 補助金についてご案内

二酸化炭素排出量の削減及び電力のピークカット・ピークシフトを推進するため、以下の機器を対象に設置費の一部を補助します。

①補助対象機器

以下の創エネ・蓄エネ機器等を補助対象機器とします。（※裏面に補助金額）

太陽光発電システム、エネファーム、エコウィル、HEMS

定置用リチウムイオン蓄電池、ビークル・トゥ・ホームシステム

クリーンエネルギー自動車（ビークル・トゥ・ホームと同時に申請し接続して使用する場合のみ）

②補助対象者

自ら居住する住宅または、居住する予定の住宅に機器を設置する人

（新築住宅、既存住宅、建売住宅、店舗併用住宅※店舗と住宅が別系統の場合のみ）

③リース機器も対象

エネファームと定置用リチウムイオン蓄電池は、6年以上のリース契約を締結したリース機器も補助対象。

補助金の申込み受付

2021年4月1日（木）から2022年1月31日（月）まで

予算額 28,000,000円

問い合わせ先

富士宮市役所 環境企画課 環境エネルギー室

〒418-8601 富士宮市弓沢町 150

電話 0544-22-1131 FAX 0544-22-1207



©富士宮市さくやちゃん

④補助金額について

補助対象機器	補助金額
住宅用太陽光発電システム（10キロ未満）	1キロワット当たり2万円 （太陽電池モジュールとパワーコンディショナを比較し出力の低い方に乗じた額）
家庭用燃料電池（エネファーム）	上限10万円 6年以上のリース契約 上限5万円
家庭用ガスコージェネレーションシステム（エコウィル）	上限10万円
定置用リチウムイオン蓄電池	上限10万円 6年以上のリース契約 上限5万円
ビークル・トゥ・ホームシステム	上限5万円
クリーンエネルギー自動車	上限5万円（ビークル・トゥ・ホームシステムと同時申請の場合のみ対象）
HEMS	上限1万円

※機器費用（工事費を除く）から国等の補助金額を差し引いた額（補助対象経費）の2分の1以内であり、上限額を超えない額が補助金となります。

★定置用リチウムイオン蓄電池って何？

夜間に充電した電力を、昼間利用して電力使用量を効率的に抑制することができる電池。充電しておけば災害時にも電力を使用することができます。

★ビークル・トゥ・ホームシステムって何？

電気自動車と住宅をつなぎ、電力の融通ができるシステムのこと。

クリーンエネルギー自動車と同時購入で5万円上乗せの補助金となります。

★HEMSって何？

住宅に設置される電化製品や太陽光発電システム、蓄電池などをネットワーク化しエネルギー管理するシステム機器のこと。

エネルギー使用量の「見える化」により節電を意識することができます。